

同志社大学 学長 村田晃嗣 講演会

平成 28 年 2 月 23 日（火曜）、肥後橋北京料理「徐園」にて、同志社大学の村田晃嗣学長による講演会が開催されました。

法人部会より同志社村田学長講演会の提案があり、昨年 6 月当会資料と共に大学校友会担当課長に講演をお願いし、日中間の多様な意見の尊重と相互理解を深める為企画しました。

当日は、「歴史を活かそう、明日の歩みに」と題して、戦後、日本が歩んできた道と、これから世界がどのように変わっていくのかを、アメリカ大統領選挙の情勢分析を通じて、分かりやすく講演して頂きました。更に学長は、2016 年から過去を学ぶ例として、高度経済成長期の 1964 年と 2020 年開催の東京オリンピックの比較論も興味深く語られました。

日本、中国を含め、世界は目まぐるしく変化しており、これまでの価値観や常識にとらわれていては、時代に取り残されてしまいます。今、注目されているアメリカ大統領選挙においても、多種多様な人種、生き方、考え方が存在することを理解し、受け入れていくことが、政治を行う上で必要不可欠であることを分かりやすく解説して頂きました。

質問時間では、「大学のグローバル化」「中国は脅威に思うか」「安倍談話」の質問には的確なコメントをされました。懇親会ではテーブルを囲み、参加者と名刺交換や談笑されました。

参加者からは、「テレビで観たのと同じように、話がうまく、とても勉強になった。」、「アメリカ大統領選挙は注目しており、専門家の話が聞けて良かった。」など、色々なご意見を頂きました。懇親会は出席者の歓談が続き、大幅に遅れ 9 時 30 分終了しました。

徐園様には、大幅な時間延長にも関わらず、大変お世話になり有難うございました。

